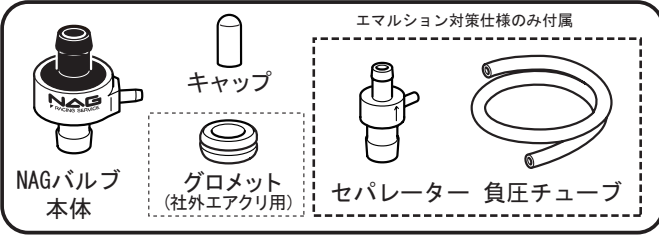


取付作業前にこの説明書をよくお読みください

この度はNAG SED 内圧コントロールバルブをお買い求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書は内圧コントロールバルブの標準的な取付方法をご案内するものです。取り付けをおこなう車体の年式、個体差により取り付け方法が異なる場合があります。
また、製品の仕様(グレード)によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなってください。

1 セット内容

最初にご確認ください。



2 お客様でご準備いただくもの

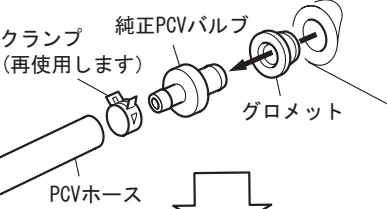


本説明書ではNAGバルブの性能を最大に引き出すために、インテークパイプへ加工をして装着する方法を案内しております。そのため、加工道具、加工技術が必要となります。加工に不安がある場合は、ブリーザーホースをカットしてその間にNAGバルブを割り込ませる方式での装着も可能です。その際の取付に関しましては、弊社HP「4輪NAGバルブ機能解説」内取付説明をご参照ください。

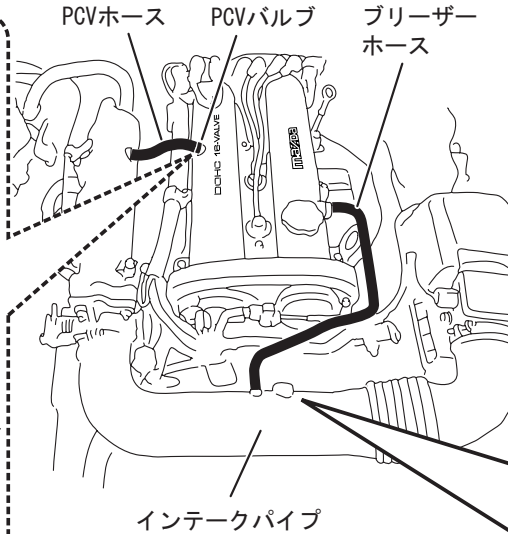
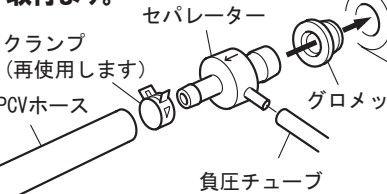
3 セパレーターの取付

エマルジョン対策仕様のみ

純正PCVバルブを外します。

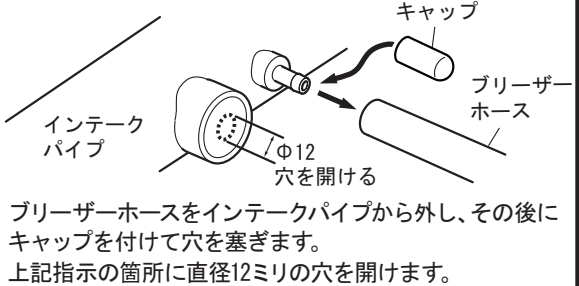


PCVバルブの代わりにセパレーターを取付ます。



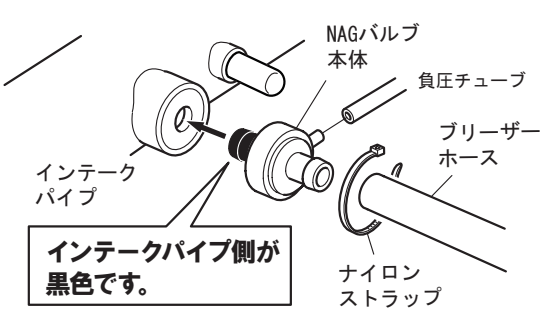
4 NAGバルブ本体の取付

インテークパイプの加工



NAGバルブの取付

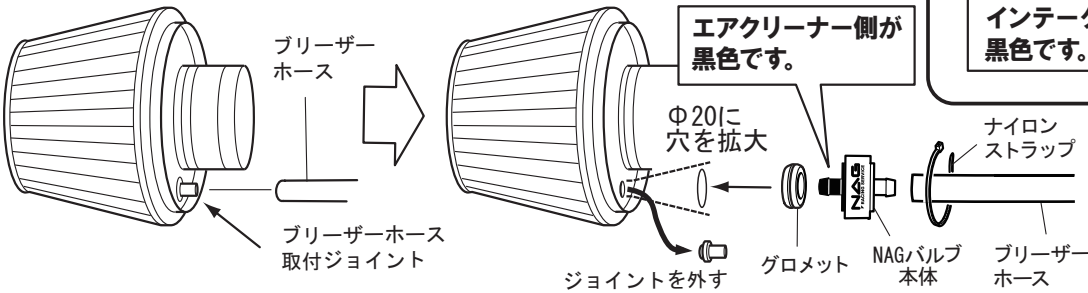
開けた12ミリの穴にNAGバルブを差し込みます。



インテークパイプ側が黒色です。

社外エアクリナーの場合の取付例

社外エアクリナーに装着の場合、グロメットが必要となります。ご購入の際にお申し付けください。



ブリーザーホースの取付ジョイントを外し、穴を直径20ミリに拡大します。その拡大した穴にグロメットを挿入しグロメットにNAGバルブを差し込みます。後の取付手順は純正エアクリナー車と同じです。

NAGバルブには取付方向があります。取付方向を厳守して装着してください。

NAGバルブ、セパレーターの固定は、純正クラмпやナイロンストラップ等でおこなってください。金属バンド等で過度の締付をおこなうと変形し、動作不良の一因となる恐れがあります。

5 負圧チューブの接続

(エマルジョン対策仕様のみ)

コントロールバルブとセパレーター間を、付属の負圧チューブで接続します。

セパレーターとコントロールバルブ間を結ぶ負圧チューブが余裕を持った取り回しになるように接続してください。寒冷地においてはチューブ中央が上がった山なりの配管にすることで、チューブ内に水分が残るのを防ぎ、凍結防止対策となります。

以上で取り付けは終了です。再度取付方向、部品の固定を確認してご使用ください。ご不明の点はお問合せください。

定期清掃について

本品はエマルジョンの処理は出来ませんが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1~2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお願いします。

清掃方法

軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いして清掃してください。汚れがひどく上記の方法で除去出来ないときには、キャップクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。